



ジェインのもうふ

アーサー＝ミラー 作 アル＝パーカー 絵
厨川圭子 訳 偕成社



ジェインは、ピンクのもうふが大好き。あかちゃんのと時からずっといっしょです。ジェインのせいほどんどのびて、ベビーベッドはつかえなくなりました。もうふはふるくなって、ぼろぼろです。あたらしいもうふをかかってもらっても、やっぱりふるいもうふのほうがずっとすきです。にぎっているだけで、あんしんしてねむることができます。ジェインは、いつまでもこのもうふをはなしたくないのですが……。

スパゲッティがたべたいよう

角野栄子 さく 佐々木洋子 え ポプラ社



アッチはくいしんぼうの小さなおぼけの男の子。まい日こうきゅうレストランで、ごちそうをよこどりしてたべています。ある日、アッチがさんぼをしていると、とてもいいにおいがしました。女の子がおいしそうなスパゲッティを作っていたのです。アッチは、いつものようによこどりしようとしたのですが、うまくいけません。はたしてアッチは、スパゲッティをたべられるのでしょうか。



たんたのたんけん

中川李枝子 さく 山脇百合子 え 学習研究社



たんたの5さいのたんじょう日に、1つのがみがとどきました。ふうをきくと、だれかがいたたんけんちのちずでした。たんたは、ぼうし、キャンディ、ぼうえんきょうをよういして、ちずをてにでかけます。ライオン山ののぼりぐちにある、きりんのまつにまたがって、ぼうえんきょうで見まわしていると、ひょうのごがやってきました。たんたがうしのしっぽ川をとびこえ、わに石をさがしていると、ひょうのこもおなじコースをたどっています。

二ちょうめのおばけやしき

木暮正夫 作 渡辺有一 絵 岩崎書店



春やすみの5日めのこと、タツヤはおかあさんとけんかをしました。いえ出したタツヤの手にまいこんできたのは、1まいの紙きれ。「え、おばけ新聞？」新聞の発行所は、二ちょうめのおばけやしきのところ番地です。タツヤは、おばけにあってみたくなりました。こわくてドキドキのおばけやしきの中で、いちばんさいしょにであったのは……。



はんぶんのおんどり

ロッシュマン さく やまぐちともこ やく
ほりうちせいいち え 瑞雲舎



「わしがしんだら、ざいさんはなんでもはんぶんずつわけておくれ。」なくなったおとうさんのいっつけをまもり、にいさんはおんどのジョウまでもまっぶたつにわかりました。こころやさしいおとうとのステファヌは、はんぶんのおんどのジョウをあてしてやりました。げんきになったジョウとステファヌは、おとうさんがもらはずだった給料のきんが100まいをうけとるため、王さまのところへでかけました。



ふしぎなかぎばあさん

手島悠介 作 岡本颯子 絵 岩崎書店



さんすうのテストが35点だった、かぎっ子の広一。しかも、うちのかぎをどこかにおとしてしまいました。そこにあらわれたのは、黒いオーバーをきて白いながぐつをはいたおばあさん。何百ものかぎを持っています。おばあさんにかぎをあけてもらった広一は、うちに入ることができました。でも、おばあさんいっしょに入ります。このおばあさん、もしかしたらどろぼうでしょうか。

ちょっとひとやすみ②

きょうもいっぱいあそびました。べんきょうもしました。友だちとけんかをしてしまったかもしれせん。何か気になっていることもあるでしょう。でも、ねる前に、大きな人に大きな本を読んでもらったら、不安な気持ちもぐすっときえて、あたたかい気持ちも生まれてくるはず。おうちの人の声につつまれて、ねむりにしてください。ひとりで本を読みたい人も、一日のしめくりは、たいせつな人と本のせかいを楽しみましょう。自分の知らないせかいをちょっとのぞけば、ワクワクして、あしたへのきぼうにつながります。おやすみ前の読書タイムで、一日をおわってみませんか。

